

さかいだに

- 7

6

5

4

3

2

調査期間 一九九五年（平7）七月～八月

1 所在地 兵庫県姫路市太市中字境谷



墨書土器などが出土した亀

田遺跡が所在する。

今回の調査地点は、谷の中を南流する大津茂川の支流である太市川の横であり、検出した流路も同川の旧河

その後砂やシルトなどによって埋没する。

木簡は、この旧河道の最上層のシルト層から出土した。旧河道埋

紀頃の須恵器碗が出土している。

8 木簡の釈文・内容

〔嶋力〕〔人等力〕

1000

(133) $\times$ (22) $\times$ 5 081

右辺がほぼ原形を保つが、上下は折損、左辺も割れている。右辺

可能性もある。文字は両面に記されているが、内容は判然としない。

なお、木簡の釈読にあたっては、奈良国立文化財研究所の古尾谷

知浩氏、山下信一郎氏、渡辺晃宏氏のご教示を得た。(別府洋二)

